

“羽田の空”100年物語を 秘蔵写真とエピソードで語る

大正6年1月、羽田町・穴守に日本飛行学校が開校し、ここに羽田と航空機との歴史が刻み始められた。以来1世紀、昭和6年の東京飛行場の開港を経て、羽田空港は「首都・東京の空港」として発展を遂げ、日本の航空史において重要な役割を果たしてきた。



プロフィール

近藤 晃氏

スタジオ助手、外国写真通信社を経て、昭和40年、フリーランスの写真家に。昭和50年頃から羽田空港などの撮影を始め、昭和56年、『羽田空港50周年』誌と写真展。昭和63年、『エアポート羽田空港春夏秋冬』と題した個展をキャノンサロンで開催。平成22年、『羽田空港を見つめて35年』と題した個展をキャノンオープンギャラリー（品川）にて開催。日本写真協会会員、航空ジャーナリスト協会会員。



写真提供：共同通信社 牧野氏

日時：平成30年6月19日（火）

19時～20時30分（開場18時30分）

会場：Luz大森4階大集会室

講師：近藤 晃氏



定員：先着90名（申込不要・当日会場へお越しください）

後援：羽田空港事務所元空港長
羽田空港整備事務所長
羽田空港宇宙科学館推進会議理事長

問合せ先：一般社団法人大森倶楽部
電話 03-3777-3351
FAX 03-3777-3541